

Hiroshima City University's founding principle is to become an international university which contributes to world peace and to the prosperity of the community through education and research in science and art.



No.
093
Aug.
2024

広島市立大学
広報誌



Club & Circle 紹介 いちレポの学生がクラブ・サークルの魅力を伝えます。

レゴマス部

「レゴマス部」は、レゴ社の販売する「レゴ」とロボットキット「マインドストーム」から名付けられました。

「マインドストーム」はプログラミングによってパーツを動かすシステムで、レゴブロックと組み合わせてロボットを作ることができます。昨年度の大学祭では、このロボットを使い、レゴブロックで作ったコースでレースを開催し、来場した子どもたちから大人気だったそうです。

部室に入ると、大量のレゴブロックで作られた有名な建物やキャラクターなどが目を引きます。普段はレゴでそれぞれの「好きなもの」を作って活動するレゴマス部には、幼い頃からレゴが好きな学生だけ

でなく、入学してから初めてレゴに触った人もいます。部長の田中さんは「好きなものを通じた、異なる学部学年同士のつながりの場にしたい」と話し、授業の課題を助け合ったり、履修について相談したりするコミュニケーションの場にもなっているといいます。

学部や部員同士のつながりも大切にしているレゴマス部は、今年の大学祭でも子どもから大人まで皆さんが楽しめるような企画を考えているそうです。大学祭にお越しの際はぜひ、レゴマス部の展示に立ち寄ってみてください。

(取材/国際学研究科2年 若山 竜雅)

【基本情報】部員数/9名
活動日・場所/月曜日放課後、
体育館横クラブハウス右から
3番目の部屋



連絡先
X (旧Twitter)
@L_Masters14FT



この記事は、学生広報クルー
“いちレポ”の学生が1日入部体
験し、作成しました。

取材の様子は
こちらから
@ichidai_ichirepo

2024年度学年暦 後期(10月1日～3月31日)

10月 1日(火)	秋季入学式・後期授業開始
15日(火)	月曜日の授業実施
16日(水) — 18日(金)	後期履修確認期間
26日(土)	ホームカミングデー
26日(土) — 27日(日)	大学祭
11月 4日(月・振替休日)	月曜日の授業実施
6日(水) — 19日(火)	補講週
20日(水) — 26日(火)	第3ターム試験期間
12月26日(木) — 1月 3日(金)	冬季休業
1月10日(金) — 27日(月)	補講週
15日(水)	金曜日の授業実施
17日(金)	開学記念日の振替日
28日(火) — 2月 6日(木)	後期定期試験
2月 7日(金) — 3月31日(月)	学年末休業
3月24日(月)	春季卒業式

この本 ～教員の著書紹介～

芸術学部 石黒賢一郎 准教授
『石黒賢一郎作品集 Injection Devices』
2024年4月、芸術新聞社

ICHIDAI NEWS

最新の
いちだいニュース



入試情報



大学案内



West Breezeについての
ご意見やご感想はこちらへ



West Breezeの最新号・バックナンバーはウェブサイトからご覧いただけます。

広島市立大学 広報委員会
E-mail kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
Tel 082 (830) 1666 Fax 082 (830) 1656



表紙作品

2023年度
芸術学部デザイン工芸学科 卒業
伊藤航 ITO Wataru
[IN WANDER] (映像メディア造形)
アニメーション映像・6分
2023年度 卒業制作
卒業制作優秀賞 /
芸術資料館買い上げ作品



〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
Tel 082 (830) 1500 (代) Fax 082 (830) 1656
https://www.hiroshima-cu.ac.jp/

市大に入学したい！
という思いを実現させ、
次の目標へ一歩踏み出した
先輩たちから、応援メッセージ。

市大を志望する皆さんへ



国際学部
国際学科
1年
あさの かほ
浅野 華穂

広島から世界を見る

私は、2022年に始まったロシアのウクライナ侵攻をきっかけに国際関係について興味を持ち、将来はNGOスタッフになりたいと考えるようになりました。そこで、国際関係が学べて、自身の興味を探究できる広島市立大学を選びました。広島市立大学の国際学部には、自身の関心や将来設計に応じて専門科目を選べる「5プログラム」があります。また、「国際平和文化都市」広島市の知の拠点として、地域に密着した講義やフィールドワークもあります。私は地域の課題解決に取り組む「地域共創プロジェクト」にチャレンジしたいと考えています。

自分のための勉強

私は周囲の受験に向かう雰囲気や家族や先生からの期待を感じて、自分も受験勉強しなければならないと考えていました。しかし、具体的な目標もなく勉強していたためモチベーションの維持もできず、あまり勉強に集中して取り組めませんでした。そんな高校3年生の夏、市大の「高校生による情報科学自由研究」に参加し、市大に行きたいと思うようになってからは、集中して勉強に取り組めるようになりました。

そんな私の経験から受験生の皆さんへお願いがあります。

目的を持った広がりのある学び

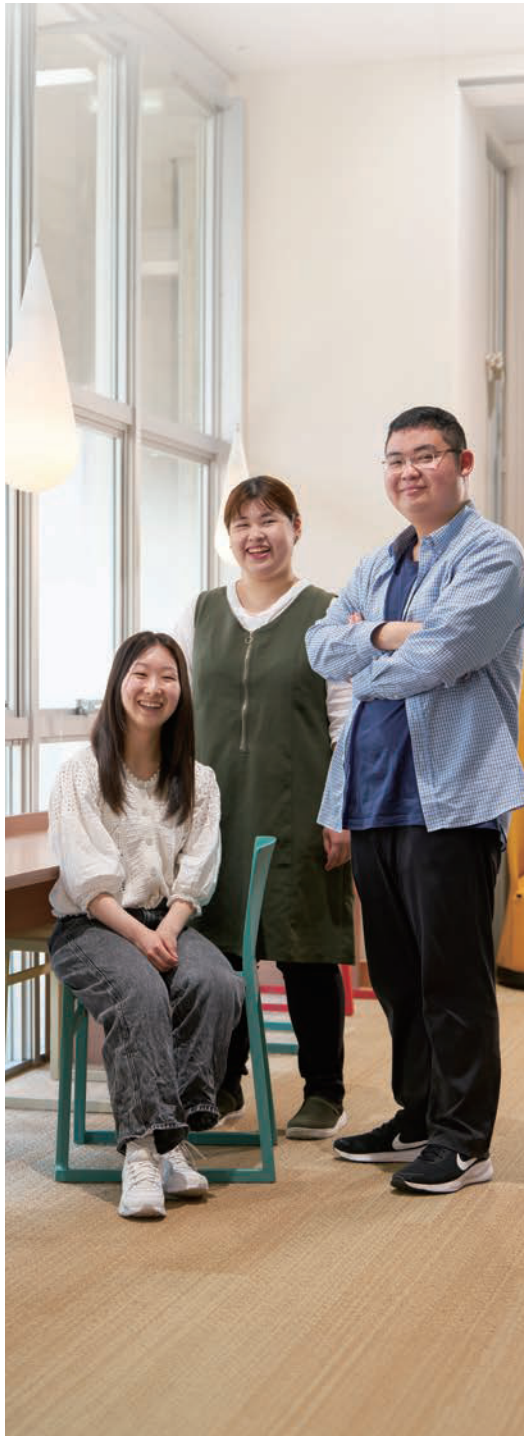
私からは皆さんに受験期に学んだこと、それを踏まえてどのように過ごしているかについてお伝えしていこうと思います。受験期に私が強く実感したのは、学科試験と実技試験はつながっているということです。実技試験は基礎的なデザイン能力が求められますが、それを踏まえた上であなた自身の表現や価値観も求められます。それらを伝えるためにも自身の引き出しを多く持つ必要があります、その引き出しの役割を果たすのが学科試験です。もちろん他の画家の作品から勉強をするのもいいですが、私が皆さんにお勧



情報科学部
1年
かねつき やまと
金月 大和



芸術学部
デザイン工芸学科
1年
よしだ りの
吉田 梨乃



活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

大学で得た経験を次の世代へつないでいく

まるやま ゆうすけ
丸山 祐介 横浜美術大学准教授

一どうして市大で金属造形を学ぼうと思ったか。

実は、十分な知識もないまま金属造形分野を選んだんです。もともと私は、グラフィックデザインの仕事に就くという夢を持って市大の芸術学部デザイン工芸学科に進学しました。当時のデザイン工芸学科では、初めの2年間でデザインと工芸の両方を学ぶカリキュラムだったんです。その中で、じかに材料に触れながら制作をする立体作品の制作に面白さを感じるようになり、中でも特に難しそうな金属加工に挑戦したくなりました。勢いで選んだ金属造形分野ですが、



今思えば、自分に合った選択だったかなと思います。

一市大のいいところを教えてください。

金属造形分野はゆったりとした作業環境だったので、落ち着いて制作に打ち込むことができました。現在は複数の大学で仕事をしているのですが、市大の環境が非常に恵まれていたことに気がきました。

一現在はどのようなお仕事をされているのでしょうか。

学生時代に学んだ金属造形の知識を生かし、横浜美術



オープンキャンパスで大学紹介



新宿高島屋での個展風景

大学で准教授を務めています。また、造形作家として金工作品を制作し、定期的に展覧会を開催しています。

一市大での学びが、お仕事で生きていけると感じるところを教えてください。

先生も、学生と共に工房内でご自身の作品を制作されていたので、その制作過程を見て真似をすることがよくありました。授業だけでは得られないプロのテクニックを盗むチャンスでもあり、そこで得た知識は私の制作に非常に役立っているので、大変感謝しています。私も次の世代へ伝えていけるよう、ものづくりに取り組む姿勢を学生と共有し、一緒に制作できる環境を作っています。

一現在の作家活動について教えてください。

金属造形には大きく3つの種類があり、「彫金」「鍛金」「鋳金」に分けられるのですが、私はその中でも「彫金」

と「鍛金」を融合させた制作活動をしています。簡単にいうと、彫金は装飾品に見られるように工具で金属を彫ること、鍛金は金鎚などを使って金属の形状を変えていくことです。制作ではさまざまな種類の素材を使うのですが、異なる素材ごとに質感などの個性があり、制作ではその個性を生かすことを心がけています。私が特に好きなのは錆です。時間の経過とともに錆が見せる表情の変化に、美しさを感じます。今は大学で教えながら個展を開くなど作家活動も継続していますが、今でも新しい学びや発見の連続です。

一最後に後輩たちへメッセージをお願いします。

大学で学んだことやそこで生まれた縁を思い起こすことが多くあります。在籍している4年間（大学院を含めると6年間）は、人生の中でほんのわずかな時間に過ぎません。この貴重な時間を大切に過ごし、自分自身が活躍できる場所をぜひ見つけてください。



初めて訪れた「Fest-Noz」

(フランス) レンヌ第2大学

人々の暮らしが文化をつくる

芸術学部美術学科4年
ふじもと かい
藤本 海

フランスには日本とは比べられないほど多くの国や地域をルーツに持つ人々がいます。そんな人々の暮らしが重なり、混ざり合い、つながっていくことで、フランスという国が文化が存在しているのだと感じた1年でした。私が留学したフルターニュ地方は歴史的に地域性の強い場所でした。そこには独自の言語や歴史、そしてそれらを愛して紡ぐ人々がいました。その中でも「Fest-Noz」と呼ばれる踊りの文化は、その愛や歴史のつながりを感じるものでした。このお祭りで生まれたての赤ちゃんから子どもたち、若者やお年寄りまで幅広い年代の方々と知り合い、共に踊り、まさに日常と文化がつながっていき、瞬間を体験しました。そこに流れる音楽もまた、昔からあるシンブルなバンドから、現代風にアレンジされたサウンドまで、滑らかに変化し浸透していました。



昔からある建物で売られていたバンド・デンネや本



韓国人の友人宅で作った韓国料理(右端が森さん)

(韓国) 慶北国立大学校

自分だけのかけがえのない経験を

国際学部国際学科4年
もり まい こ
森 舞衣子

私は本学の交換留学制度を利用し、3年生後期に韓国の慶北国立大学校に留学しました。留学期間は約4カ月と決して長くはありませんが、毎日が挑戦と学びの連続で充実した時間となりました。授業に関しては、ほとんどの授業でグループ発表があり、討論を行った授業もありました。グループ発表の準備や討論という場では、自分の意見を外国語で、論理的かつ即座に伝える必要があったため、苦勞する場面が多かったです。しかし、その分語学面での成長を大きく感じたと同様に、一つずつ乗り越えるたびに達成感を得ることができました。また、勉強のみならずサークル活動や交流会を通して親しくなった学生たちとご飯を食べに行ったり遊んだりし、一緒に過ごしたという場では、自分の意見を外国語で、論理的かつ即座に伝える必要があったため、苦勞する場面が多かったです。しかし、その分語学面での成長を大きく感じたと同様に、一つずつ乗り越えるたびに達成感を得ることができました。また、勉強のみならずサークル活動や交流会を通して親しくなった学生たちとご飯を食べに行ったり遊んだりし、一緒に過ごした



旅行先の景福宮にて

時間も忘れられない大切な思い出です。一緒に過ごす中で、他国の価値観にも触れ、たくさん刺激を受けました。一方で、海外での生活では楽しいことばかりではなく大変なことや問題に直面することが多いです。私は留学中、旅行の帰りの電車の中で、ちょっとしたトラブルに遭遇したことがありましたが、周囲の人の力も借りながら乗り越えましたが、何とか自分で解決できたことで達成感と大きな自信を得ることができました。約4カ月間という短い留学期間に得た経験と出会いはいくらもかけがえのない宝物となりました。今後も留学で得たさまざまな経験を糧にして、一度きりの人生を素敵なものにしていきたいです。

留学体験記

本学では海外学術交流協定大学との活発な交流・学生交換留学を推進しています。留学を終えた2人から、体験記とこれから留学を考えている学生に向けたメッセージをもらいました。

column 開学 30 周年 イベントレポート



記念式典の様子

若林学長の式辞



広島市立大学開学30周年記念式典・祝賀会 広島から地域へ、世界へ飛び立つ人材の育成を目指して

6月15日(土)、広島市立大学の開学30周年を祝う記念式典および祝賀会がホテルメルパルク広島で執り行われました。学内外から関係者100名ほどが参加した記念式典は、本学卒業生で元アナウンサーの森田初実氏が司会を務め、厳肅な雰囲気の中で開催されました。若林真一学長による式辞では、広島市立大学の歩みや成果を振り返りながら、感謝の気持ちとともに、これから地域社会の要請に的確に応え、地域と現代社会の課題解決に取り組み、「広島から地域へ、世界へ飛び立つ人材」の育成に取り組む決意が述べられました。その後、松井一實広島市長と母谷龍典広島

市議会議長より祝辞を頂き、続いて行われた祝電の紹介の後には、卒業生リレーメッセージ動画が披露されました。卒業生たちが近況と将来の展望について生き生きと語る姿が映し出され、会場は温かい雰囲気包まれながら、記念式典は閉会となりました。

続く祝賀会では、若林学長によるあいさつの後、越智光夫広島大学長より祝辞を頂き、石田祥子広島市議会総務委員長の音頭により出席者全員で乾杯が行われ、和やかな雰囲気の中で開会しました。中盤には、大学建設当時から現在までの歩みを振り返る写真スライドが上映されまし



祝賀会の様子



卒業生リレーメッセージ動画
動画は本学公式YouTubeチャンネルで公開中です。

3学部それぞれの個性が出てふい！

在学している学部の魅力や自慢を教えてください

国際学部

- ・いろいろな社会問題を考える仲間が大勢いて、ディスカッションが盛り上がる。
- ・少人数の授業やゼミも多く、指導が手厚い。

情報科学部

- ・VR機や脳波測定器、ロボットカーなどさまざまな機械を使う。

芸術学部

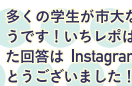
- ・シアタールームや、木材・金属・プラスチックを加工する工房などがあり、施設が充実している。

市大で思い出に残っているイベントは？

- ・市大塾（リーダー人材を育てる正課外教育プログラム）。専門家の方々のお話を聞ける！
- ・短期で留学にきた人達との交流プログラム。学外での交流ができる！
- ・新入生オリエンテーション。3学部混合グループで行うレクリエーションがある！



大学祭でのステージ発表や出店が楽しかったという声も多かったふい！



Instagram

YouTube

この記事は、学生の目線から本学の魅力を発信することを目的に活動している、学生広報クルー“いちレポ”の広報誌班が作成しました。

いちレポアンケート調査！いちだいのここが推せる！

大学受験を控えている皆さんにもっと市大のことを知ってもらうために、在学生に対して、市大の魅力についてアンケート調査を行い、95人が回答してくれました！（2024年5月実施）



集計の結果、多かった意見やいちレポメンバーが注目した意見を取り上げました。

市大に入ってよかったと思うことは？

- ・学生数が少ないから先生がきめ細かく面倒をみてくれて成長しやすい。
- ・国際学生寮「さくら」があって他国の人との交流が多く、さまざまな学年の学生と関係性が作りやすい。また、広島だからこそ学べる歴史やできる体験が多い。
- ・積極的な学生が多く、刺激をもらえる。

市大の〇〇学部を選んだ理由を教えてください

国際学部

- ・広島で平和を学びたかったから。
- ・5つのプログラムの中に自分の学びたい分野があったから。
- ・幅広い第二外国語を学べるから。

情報科学部

- ・第一希望の企業の就職率が他大学と比べて高かったから。
- ・自分のやりたい研究ができるから。
- ・実家から通えるからという意見も多数！

芸術学部

- ・地域に関わりながらデザインに関わることができるから。
- ・グループ制作ができる機会が多いから。
- ・映像やデザインについて学びたかったからという意見も多数！

編集統括：芸術学部2年 長原 穂香 デザイン：芸術学部2年 慶長 真希
ライティング：国際学部4年 藤井 美風 企画：広報誌班